生駒市景観形成基本計画の全体構成（案）

（検討頂きたい事項）

・第３章（今回で一定の確定）

・第３．５章（パターンの展開方策）の内容と構成

・第４章、第５章の構成

第１章　はじめに（計画の基本的事項）

計画の目的、位置付け、構成などの基本的な事項を述べる

１　わたしたちの暮らしと景観

２　基本計画を策定する意義

３　計画の目的と位置づけ

４　改訂にあたって重視した視点

５　計画の構成

＜本計画でめざすもの＞

①生駒の景観の特性を把握し、

＜景観特性＞

②前提とすべき「基本原則」に則って、

＜基本原則＞

③景観を成らしめている要素を読み解き認識し、

＜生駒らしい景観のパターン＞

④市民・事業者・行政が自ら考え、協働のもとで景観づくりを進める

＜方針・推進方策＞

計画とする

第２章　基本理念と生駒らしい景観の特性

景観づくりに取り組む上での基本理念と、生駒らしい景観の特性を示す

１　基本理念

1. 生駒らしい景観の特性を認識する

2. 生駒らしい景観を構成する要素を読み解く

3. 市民・事業者・行政が自ら考え、協働しながら景観形成を図る

２　生駒らしい景観の特性

生駒の景観をどう認識していくのか、を示す

景観特性

１　地勢

地形・流域など「大景観」として生駒のアイデンティティを体現

２　地域性

自然、田園、市街地景観など「中～小景観」として場所に応じて多様な特性を持つ

２－１. 歴史・文化の文脈

２－２. 市街地開発の文脈

２－３. 界隈の空気

３　暮らし

１、２の景観は人の暮らしの中で支えられている

第３章　基本原則と生駒らしい景観のパターン【資料１】

生駒の景観特性を踏まえて前提となる基本原則を定め、それを構成する（成らしめている）要素を読み解いた上で、普遍的なキーワード（パターン）を抽出する

１　基本原則

特性を伸長するため前提として遵守すべき原則を設定

基本原則

１　地勢を尊重する

地形の骨格がつくる空間の構造と景観との関係性を認識し尊重す

２　場所の特性との調和を図る

地域により、立地により異なる場所の特性を読み解き、それらの特性と景観との関係性を意識し、調和を図る

３　暮らしの営みの中から育む

暮らしの営みと景観との関係性を認識し、景観形づくりを特別な取り組みと考えずに、当たり前の行動の中から生駒らしい景観を育む

２　生駒らしい景観のパターン

生駒らしいよい景観を形づくる普遍的なパターンを抽出

パターン

1 生駒山への意識
2 屋根並みに浮かぶ緑の島
3 ヤマ・ムラ・ノラの層構造
4 見わたす眺望
5 見通しの眺望
6 緑に溶け込む建物
7 緑のエッジ
8 生駒山の修験の領域
9 顔となる空間
10 人が交わる場所
11 曲がった道
12 坂道の見上げと見下ろし
13 通りのプロポーション
14 連歌式
15 高低差の尊重
16 商いのにじみ出し
17 要素の絞り込み
18 暮らしのにじみ出し
19 なりわいがつくる風景
20 聖なる場（パワースポット）
21 アクションできる余地
22 人の尺度
23 期待感
24 表出する緑
25 プライバシーとセキュリティ
26 受け継がれてきたデザイン
27 生駒石
28 仮設の風景
29 移ろいの風景
30 記憶の風景

３　パターンを用いたデザイン（ランゲージ）

パターンを組み合わせてランゲージとして展開してデザインする方法を提示

〇デザインの方法

〇ランゲージによるデザインの例

・住宅地

・商業地

・集落

・工業地（今後追加）

・高山の田園風景、茶筌の風景（今後追加）

※３章に入れるのか４章に入れるのかは要検討

第４章　身近なまちの景観づくり【資料３】

1. 立場に応じた景観づくり

〇市民：景観づくりに取り組む市民、住宅の施主、市外からの応援団

〇事業者：景観づくりに取り組む企業市民、事業所の施主、開発・設計事業者

〇行政：景観づくりの枠組みを整える主体、総合的な施策推進の主体、公共事業の事業主体

2. 身近なまちの特徴に応じた景観づくり

〇「住宅地」での景観づくり

〇「商業地」での景観づくり

〇「集落」での景観づくり

※市民、事業者向けの景観まちづくりの展開方策を記載

第５章　景観づくりの推進に向けて【資料３】

1. 景観づくりの施策

〇「意識付け」の方針と施策

〇「誘導」の方針と施策

〇「規制」の方針と施策

〇「支援」の方針と施策

〇景観を創り出す公共事業の実施

※行政の施策として、分割して記載